

# 街を行く

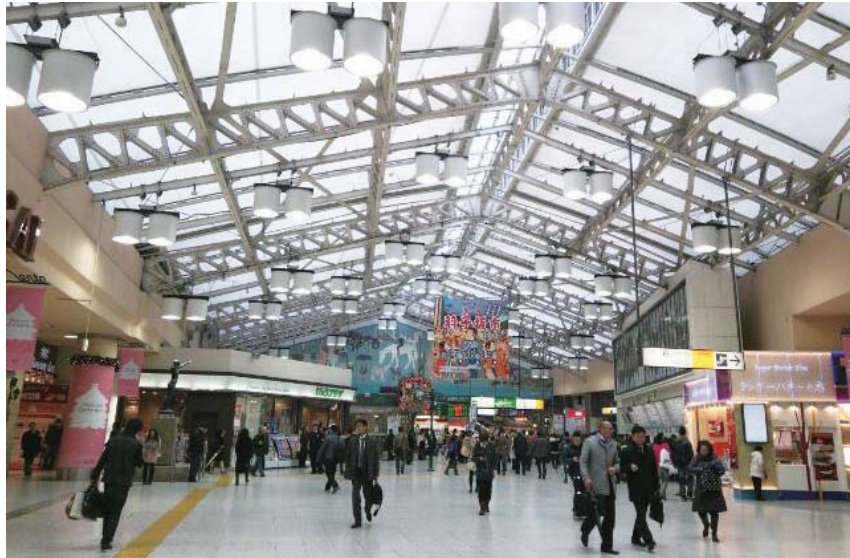
第27回 上野 Ueno

## 偉大なマイナー

東北や北関東出身でもないのに、どこか郷愁を感じてしまう上野駅周辺。出張で東京駅を発つ際は「行くぞ」と気合を入れ戦闘モードとなるのに、ここではゆったりムードで少し癒しの気分となります。これは街そのもののあり方によるものなのでしょうか。東京駅周辺はビジネス中心地。そこでの立ち振舞いは、さながら生き馬の目を抜く様なもの。モタモタしていると取り残されそうで、どこか無理をしがちです。その無理がたたと疲れ、だんだん寂しい気持ちになってくる。頑張っている皆さん、こんなふうになりませんか？なっているのは小生だけでしょうか。だとすれば、まだまだ努力が足りないのですね。でも無理せずたまには疲れてみて下さい、きっと楽になれますよ。

上野周辺を疲れ気分で歩いていると不忍池に辿りつきました。昼休み時なのか多くの方々が一息つきに来られているようです。普通であればこの後は上野の森に出て美術館をめぐり、動物園を回りつつ、次いでに西郷さんに会って帰るのでしょうか。でも、それではただの「ぶらり旅」です。小生は街の中へと繰り出します。

オフィスビルが立ち並ぶというより、レストランや店舗が入った雑居ビルが主体。間口の狭い昔ながらの建物が並んではいますが、なぜか古臭さはあまり感じさせません。統一感のないバラバラした雰囲気が逆に個性を醸し出しているようです。本当に街というのは生きもので、その息遣いを感じた時にその面白さが理解できます。整然とした計画によって作りだされた街は少しの無駄も無く便利に出来ていま



ビジネスでの戦闘でちよびり疲れた時は、上野へせひどうぞ

すが、まったく隙がありません。隙を作らないのが街作りのコンセプトになっているようです。それは押しつけられた物の中でのいかに効率よく暮せるか試されているようで、プレッシャーにさえ感じられます。それに比べこの街はどうでしょうか。プレッシャーとは無縁で、好き勝手に生きているようです。周りの評価などには関心がなくありのまま、まさに街本来の姿です。すべての街がこのようであれば、それも困ったものですが、ここだけはそれでも良いのではないのでしょうか。なぜか許されるのもこの街の特徴で、個性でもあります。街の顔としてはメジャーじゃなく少しマイナーなのはこのようなところから来ているのでしょうか。マイナーって重要なことであり、メジャーが置き忘れて行ったものを大事に取って置くのが仕事。だからマイナーからモノは育つのであって、そこから育つ

た物は本物なのです。大リーガーがそうでしょう…。皆さん身の周りのマイナーを探してみてください、きっとここから将来のヒントが隠されていますよ！

### 南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年株式会社ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。  
BLOG「南一弘の負けない不動産投資」  
[http://blog.livedoor.jp/minami\\_kazuhiro](http://blog.livedoor.jp/minami_kazuhiro)